



システムの先に利用する人を見る ITによる合理化で煩雑な作業から開放

入金処理に特化したシステム「Victory-ONE G3」をはじめ、各種システムの企画・開発・導入コンサルティングを行なっている株式会社アール・アンド・エー・シー。代表取締役社長の高山知泰氏は、システム化による業務の合理化で人々に喜びを与え、100年続く盤石な会社の構築を目指している。

煩雑な手作業がともなう入金処理業務。経理担当者が銀行からの振込通知と請求一覧表を照らし合わせながら、手作業で確認を行なっている会社も少なくない。取引先の増加に従い作業は増え、未入金を見逃すと不良債権にもつながる。お金の管理は健全な経営に欠かせない大切な業務だが、経理担当者が多大なる労力や責任を負っている部分が多い。

アール・アンド・エー・シーが開発、販売している「Victory-ONE G3」は、この面倒な入金処理を自動的にこなすシステム。請求した金額が期日までに入金されなかったかを確認し、入金されている場合は消し込み作業を、されていない場合は入金の遅延や不足を担当者へ即時連絡し、未回収を防ぐ。顧客ごとの入金履歴のデータベース化はもちろん、入金予定表や未回収の一覧表作成などの自動化にも対応している。

「会計業務のパッケージシステムはたくさんありますが、入金処理は会計業務の一部分であるため、この部分にだけ特化したシステムというものがありませんでした。しかし煩雑な作業は多く、ニーズはあると思っていました」と語る代表取締役社長の高山知泰氏。

ERP (Enterprise Resource Planning) と呼ばれる統合型の会計システムや業務システムも多々あるが、こと入金処理に関しては使い勝手が良くないという。特に海外のシステムは、未締め月の月払い



消し込み作業の効率アップを図る、クラウド型の入金照合ツール「Smart-ONE」



「入金自動消し込み」から「債権残高管理」までをカバーする本格的な入金・回収業務特化型のソリューションパッケージシステム「Victory-ONE G3」。圧倒的なコストパフォーマンスで、入金まわりの業務合理化に大きく貢献する

などという日本の入金スタイルに合っていない。同社では徹底的に日本仕様とすることで、利便性を追求した。「リリースして7年、今の製品は改良を繰り返した3世代目です。ニッチな製品ですし、ノウハウも必要なので他社はなかなか追従できないのではないのでしょうか。今では日本航空（JAL）や川崎近海汽船などの大手企業をはじめ、100社くらいの企業に導入されています」

2004年に起業し、9年連続で増収増益の同社。今後は中小企業が導入しやすいよう、コストを抑えたクラウド型入金処理システムのサービスも行なう。入金まわりにさらに特化し、100年継続成長できる盤石な企業を目指している！

日々成長し、盤石で、
100年継続成長する
会社を目指す！

代表取締役社長 高山知泰



株式会社アール・アンド・エー・シー

所在地 ■ 東京都千代田区東神田 2-10-16 For Life Office 東神田9F
TEL ■ 03-5835-2197 FAX ■ 03-5835-2198
URL ■ <http://www.r-ac.co.jp>
設立 ■ 2004年 資本金 ■ 1,700万円
従業員 ■ 20名

PHILOSOPHY ● 理念

我々が提供するサービスの根幹は、企業の業務改善及びIT戦略における良きパートナーであること。お客さまが具体化できない要望にも言及し、誠心誠意のサービスを提供するとともに、常に最新の市場動向、最新技術の自己研鑽を持ち、サービス品質の向上を目指す。

POLICY ● 方針

システムは機械的なものだが、その先には常に利用する人がいる。利用する人の利便性を考えての合理化を行なう。また、お客さまは人につく。個人としての質、レベルを向上させることが必要。そして、そのような人の集合が会社。